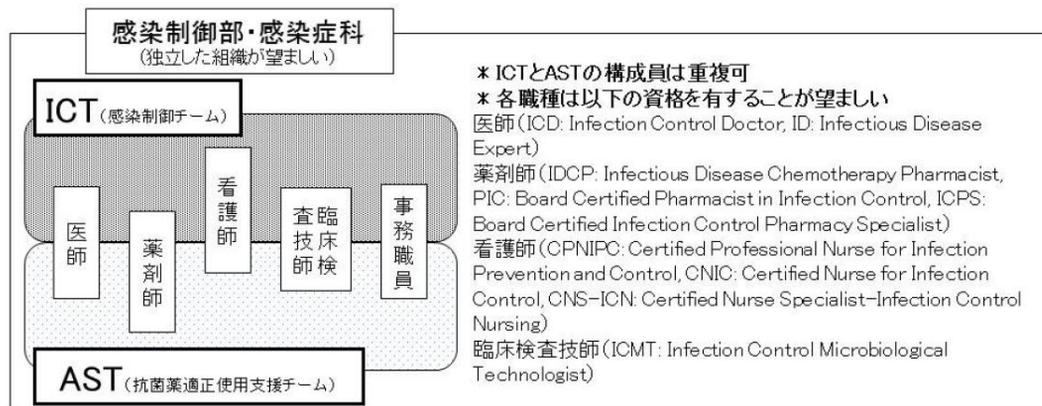


薬剤耐性(AMR)時代の感染制御認定・専門薬剤師

愛知県病院薬剤師会専門薬剤師教育委員会「感染制御部会」は、ICT(感染制御チーム)およびAST(抗菌薬適正使用支援チーム)で活躍できる感染制御認定・専門薬剤師の育成を目指しています。

AMR(Antimicrobial Resistance)グローバルアクションプランを背景に、2018年度診療報酬改定において抗菌薬適正使用支援加算が新設され、各施設において抗菌薬適正使用支援プログラム(Antimicrobial Stewardship Program: ASP)が推進されています。AMR対策の目的は、「**耐性菌の発現と蔓延を抑制させること**」であり、標準予防策の徹底とともに、抗微生物薬の適正使用を推進することにあります。病院薬剤師は従来のICT活動に加えて、AST活動での活躍が期待されています。「Antimicrobial stewardship program 実践のためのガイダンス」で、薬剤師は「**抗菌薬適正使用支援チーム**」における貢献度が高く評価され、多くの場面での活躍が期待されています(図)。



「Antimicrobial stewardship program 実践のためのガイダンス(8学会合同)
http://www.chemotherapy.or.jp/guideline/kobiseibutuyaku_guidance.pdf

ICT: 手指衛生・標準予防策・環境整備

1. 患者に触れる前: 手指を介して伝播する病原体を消毒する
2. 清潔/無菌操作の前: 患者の体内に病原体が侵入することを防ぐ
3. 体液曝露の後: 患者のもつ病原体から自分自身と医療環境を守る
4. 患者に触れた後: 患者のもつ病原体から自分自身と医療環境を守る
5. 患者周辺の物品に触れた後: 患者のもつ病原体から自分自身と医療環境を守る

AST: 抗菌薬適正使用

- 抗菌薬事前許可制やフィードバックによる介入
- アミノグリコシドやバンコマイシンの薬物動態モニタリングと投与量調整プログラム
- 適切な内服抗菌薬使用の促進
- 抗菌薬治療期間を短くするための介入
- 適切な微生物検査診断
- 特別な患者層への抗菌薬適正使用プログラム など

AMR臨床リファレンスセンター <http://amrcrc.ncgm.go.jp/050/index.html>

図: 耐性菌対策推進のためにあるべき感染症管理体制の整備

～耐性菌のインバウンドと海外からの高度薬剤耐性菌の持ち込み～ (2020年 東京オリンピック開催を控えて)

現在、訪日外国人数、渡航日本人数は年々増加傾向にあり、薬剤耐性(AMR)が国境を超える機会も増えています。2020年は東京でオリンピックが開催され、高度耐性菌の検出頻度の高い国や地域からも多くの人々が訪れる機会となります。本邦においても海外から持ち込まれた高度耐性菌がアウトブレイクを起こした事例がいくつか報告されていることから、耐性菌の輸入、拡散を防ぐ対策を整備することがAMR対策として重要となります。「**医療機関における海外からの高度薬剤耐性菌の持ち込み対策に関するガイダンス**」¹⁾を参考に、訪日外国人の診療においては国や地域、入院治療歴、デバイス使用歴などの聴取、スクリーニング手順と接触予防策について確認しておくことが望まれます。さらに、抗菌薬療法が必要になった場合の抗菌薬選択と投与量、薬剤入手方法についても把握しておくことが大切であると考えられ、薬剤師の活躍が求められます。また、「**CRE、VRSA、MDRP、VRE 及び MDRA の 5 種類の 多剤耐性菌については、保菌も含めて 1 例目の発見をもって、アウトブレイクに準じて 厳重な感染対策を実施すること**」^{2,3)}に留意した管理が必要になります。

1)「医療機関における海外からの高度薬剤耐性菌の持ち込み対策に関するガイダンス (国際感染症センター)
<http://dcc.ncgm.go.jp/prevention/resource/resource05.pdf>、2)厚生労働省医政局地域医療計画課長通知(平成26年12月19日)
<https://www.pref.aichi.jp/uploaded/attachment/44155.pdf>、3)多剤耐性グラム陰性菌感染制御のためのポジションペーパー(日本環境感染学会)
[http://www.kankyokansen.org/uploads/uploads/files/jsipc/position-paper\(2\)_2.pdf](http://www.kankyokansen.org/uploads/uploads/files/jsipc/position-paper(2)_2.pdf)